

プレスリリース

2016年 4月 1日

国立研究開発法人防災科学技術研究所

国立研究開発法人海洋研究開発機構

地震・津波観測監視システム「DONET」の移管について

国立研究開発法人防災科学技術研究所（理事長 林春男、以下「防災科研」という）と国立研究開発法人海洋研究開発機構（理事長平 朝彦、以下「JAMSTEC」という）は、紀伊半島から四国沖の南海トラフにおいてJAMSTECが開発・整備を進めてきた地震・津波観測監視システム（以下、「DONET」という）の整備が終了したことから、「独立行政法人改革等に関する基本的な方針」（平成25年12月24日 閣議決定）に基づき、平成28年4月1日をもってJAMSTECから防災科研に移管となりました。

DONETは、JAMSTECが文部科学省より、平成18年度から受託研究「地震・津波観測監視システム構築」および平成22年度から補助事業「地震・津波観測監視システムの開発」として開発・整備を進めてきました。今般、紀伊水道から四国沖にかけて展開するDONET2が完成したことを受け、DONET1と合せて、移管となります。

移管後は、防災科研においてDONET1の運用を実施するとともに、DONET2に関してはJAMSTECと連携してデータの検証等を行ったうえで本格運用を開始する予定です。

詳細は[防災科学技術研究所のサイト](#)をご覧ください。

国立研究開発法人海洋研究開発機構

広報部 報道課長 野口 剛